

笑地域つうしん

小地域ケア会議とは？

Vol.12

令和3年(2021)
7月15日発行

●開催頻度
三か月に一回を目安に開催

●メンバー

地域役員(町内会役員や民生委員・児童委員、愛育委員・栄養委員、老人クラブ等)と行政や社会福祉協議会、地域包括支援センターの職員

教えてください

新型コロナウイルス感染症の影響で、小地域ケア会議や地域活動が開催できにくい状況が続いています。しかし、構成メンバーの多い支部では、三回に分けて開催したり、フェイスシールドを着用して協議したりと地域ならではのやり方で開催している支部もあります。

そこで、「自分の支部では、コロナ禍でもこのような工夫をしている、このような取り組みを行なっている」などがありましたら、ぜひ教えていただきたいです。他の支部の皆様にご紹介し、活動の参考にしていただきたいと思います。

地域の「架け橋」として、この笑地域つうしんをぜひ活用してください！

溶けるような暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。地域の子どもたちは海やプールで大はしゃぎといきたいところですが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で難しい状況です。ワクチンの効果に期待したいですね。

コロナ禍で地域交流が難しい中、津山市内の地域が繋がりが続けられる架け橋として『笑地域つうしん』を発行させていただいています。令和三年四月号で、現在小地域ケア会議を開催されている全三十二支部のご紹介が終了致しました。

そこで今回は、年度が変わり、新しく小地域ケア会議の役員になられた方もおられますので、改めて「小地域ケア会議とはどのような場なのか」を振り返っていききたいと思います！



●設置単位

津山市連合町内会支部単位

(新しく小地域ケア会議の場を設置される支部や既存の防災を考える会議、公民館の運営推進会議、まちづくりの部会等に職員を呼んでいただき、小地域ケア会議として運営される支部もあります)



各支部・各町内で様々な活動をされていると思います。お声かけいただければ、いつでも小地域ケア会議についての説明に行かせていただきます！





小地域ケア会議の流れ

小地域ケア会議を立ち上げたけど、何から始めたらいいんだろう？



小地域ケア会議は、①地域の現状把握 ②学習の場の企画 ③具体的な解決策の検討 といった流れで会議を進めています。まずは、地域にある社会資源や皆さんが感じている課題などを把握してみましょう。

具体的に何をしたらいいの？



座談会や聞き取り調査、アンケート調査、支え合いマップなどがあります。地域に合った内容を皆さんで考えて、取り組んでいきます。一例を紹介しましょう。



①座談会

小地域ケア会議の委員や委員以外の地域の方が集まり、地域の良いところや課題、地域が良くなる取り組みなどを話し合います。



②アンケート調査

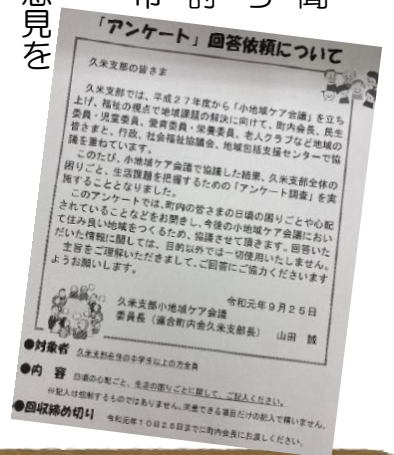
小地域ケア会議で対象者や聞きたい項目(地域の良いところや困っていることなど)を検討し、アンケートを作成し、配布します。

調査を通して、多くの方の意見を聞くことができます。

③支え合いマップ

一人暮らし高齢者や寝たきりなどの支援が必要な方、また見守り活動などの支え合いの実態など小地域ケア会議の委員が持っている情報を住宅地図に記入していきます。作成を通して、地域の見直しや新たな発見をすることができます。

このような取り組みを通して、地域の良いところや課題を改めて確認できます。そこから必要な取り組みを検討していきます。



次回は… 10月発行になります。よろしくお願い致します！

お問い合わせ先(発行元)

〒708-0004 津山市山北520(津山市役所1階) 津山市地域包括支援センター (担当: 渡辺・佛崎) TEL: 0868-23-1004 FAX: 0868-23-1005

